

特集：資料室を使ってみよう！

人と防災未来センター（通称ひとぼう）では、所蔵する資料を「一次資料」「二次資料」に分けて整理・保存しています。一次資料は閲覧申請が必要ですが、どちらもセンター西館の5階にある資料室で見ることができます。資料の閲覧以外にも、チラシやパンフレット等の配布、映像・写真資料の貸出しなども常時行っています。今号では、所蔵する資料を改めて紹介するとともに、資料室で利用できるあれこれをご案内します。

人と防災未来センターが所蔵する資料

（資料の総数は2017年3月末時点）



一次 資料

総数
18万9,101点

阪神・淡路大震災の被災状況を物語るものや、復旧・復興の過程で作られたり使われたりしたものです。紙、写真、映像・音声、モノ資料と4種類にわけて管理しています。資料室とは別のフロアにある収蔵庫・収蔵スペースに保管しており、閲覧申請書の提出でご覧いただけます（資料準備に時間がかかりますので、数日前にご連絡ください）。写真資料の一部の貸出しも行っています。

二次 資料

総数
3万9,528点

阪神・淡路大震災及びその他の災害・防災関連の刊行物です。図書、雑誌、ちらし、映像 DVD、データ CD、防災ゲームや絵本などもあります。資料室内に開架しており、どなたでも手に取ってご覧いただけます。図書の貸出しは行っていませんが、室内のコピー機で複写可能です。一部の映像資料（DVD・VHS）は貸出しを行っています。

貸出の詳細は、次頁へ



- ▲一次資料写真（上から）
- ・フロッピーディスクとカセットテープの一例
 - ・喫茶のお知らせチラシ
 - ・丸五市場ミニFM開局記念セールチラシ
 - ・六甲小学校避難所で使用された炊飯器

震災資料を使ったオリジナル教材 「くらしと震災学習ノート」を作成しました

この度、新しい教材「くらしと震災学習ノート」を作成し、2017年3月より配布をはじめました。資料室では以前から、主に小学生へ向けた教材「災害学習ノート」を作成・配布していますが、今回のノートは、中高生以上を対象としたものです。

阪神・淡路大震災を詳しく取り上げ、地震発生のしくみから復興までの過程を「くらし」にそってまとめています。各章ごとにクイズを設け、中学生以上で習う漢字にはルビをつけています。巻末にはメモページがあり、自分のノートを作ることができる教材です。修学旅行や地域の防災研修等の事前・事後学習にぜひご利用ください。

「災害学習ノート」「くらしと震災学習ノート」は
資料室で無料配布しています（来館者・来館予定者に限り）

PDFで全文公開しています。プリントアウトして自由にご利用ください

URL→http://www.dri.ne.jp/material/material_studies



資料の利用

写真資料の一部(113枚)は、HPからダウンロードして使用することができます。113枚以外の写真資料も、HPでの検索ができ、貸出申請書の提出により、画像データの貸出が可能です。

提供した写真は、講演会等でのスライドや、パンフレット、チラシ、DVD等に使用されています。完成した成果物を拝見することは、貸出しする側の楽しみにもなっています。

紙、映像・音声、モノ資料は、使用目的や輸送条件などが適する場合のみ、資料の貸出しを行っています。

(貸出と活用については、資料室ニュースのVol.61号で詳しく紹介しています)



写真資料が使われた
チラシ等の一例

*ニュースのバックナンバーはHPでご覧ください URL→http://www.dri.ne.jp/material/material_news

阪神・淡路復興対策本部事務局

貸出例 サンテレビ震災20年報道特別番組 (2015年1月17日)

震災20年を迎えた2015年、神戸のTV放送局サンテレビジョンから依頼を受け、阪神・淡路復興対策本部事務局看板や、震災当時作成された壁新聞等の資料を貸出しました。特別番組「報道特別番組—記憶の再生・揺れた街から」の背景セットとして、使用されました。

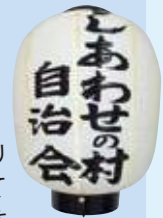


左) 復興本部看板

上) わいわい丸五ステーション看板

貸出例 しあわせの村仮設住宅同窓会 (2005年7月30日)

一次資料として登録しているモノ資料に、自治会腕章と、ちょうちんがあります。これらは当時、神戸市北区の「しあわせの村」という施設内に建てられていた仮設住宅の自治会から寄贈していただいたものです。仮設住宅はなくなり、自治会も解消しましたが、2005年にかつての住民の皆さんが集まる同窓会が開かれることになり、これらの資料を貸出しました。しあわせの村のテント内に展示された資料の前で、思い出話をなされたそうです。



上) 自治会ちょうちん 下) 自治会腕章

資料室の利用

映像資料(DVD・VHS)の貸出し

防災・減災への啓発目的であり、かつ非営利の場合のみ、二次資料の映像資料の一部を貸出しています。期間は1週間、本数は2本まで。郵送での貸出も行っており(着払い)、学校や地域での防災イベントや、社内研修等さまざまな場所で使われています。

資料室視察・見学

資料を扱う他の施設や、学会、大学などからのご見学を受け入れています。スタッフが、所蔵資料についての説明や資料室・収蔵庫のご案内をいたします。(要申込み)

神戸新聞記事データベース

資料室内の端末から、神戸新聞の過去の記事を検索し、テキストデータと写真を閲覧できます。

レファレンス

資料の調べ方や、震災に関する事実の確認などのご相談を受付けています。

ぼうさいみらい子ども文庫

絵本や児童書、紙芝居などを集めたスペースです。防災ゲームの体験もできます。



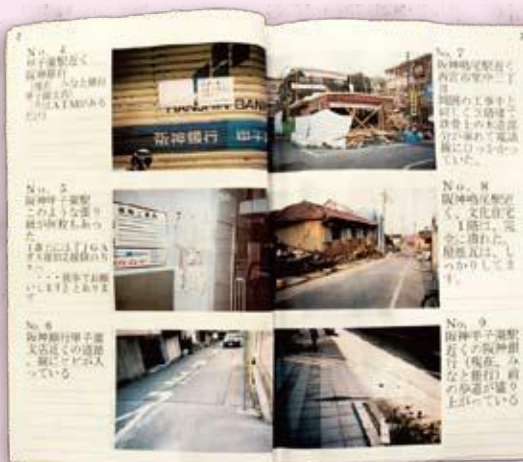
上) JICA研修員による視察の様子
中) 資料・新聞記事検索端末
下) ぼうさいみらい子ども文庫



詳しくは資料室へ!
お問合せください



新規公開資料 : 竹内俊輔氏寄贈 兵庫県南部地震(阪神淡路大震災)の被災と復旧工事の写真



寄贈者の竹内さんは、震災当時西宮市にお住まいで、建設関係のお仕事をされていました。震災後、1995年2月から1996年12月までの間に数度にわたって西宮・芦屋・神戸の各地で被災・復旧工事の様子を撮影され、200枚余りの写真のデータと、そのうちの190枚近くの写真にキャプションをつけてまとめた冊子を、当センターに寄贈して下さいました。

ほとんどの写真には撮影された場所が記されており、甲子園駅、新在家駅、石屋川駅などの阪神沿線のほか、三ノ宮駅周辺、神戸大橋やポートアイランドなど被災後の様子を知ることができます。特に、甲子園町、上鳴尾町の被災状況や、神戸市大石東第二住宅現場、阪神高速、神戸大橋の工事の様子などについて、多くの写真が残されています。

工事に携わっておられた立場から書かれたキャプションを付けた写真も多くあるため、同業者の方にとっても興味深い資料であるかもしれません。また、1996年4月に淡路島で野島断層を見学された際の写真も含まれています。今は野島断層保存館として整備されている地域であるため、こちらも当時の様子を知ることができます。

写真データは、資料室HPの情報検索システム一次資料検索から、調査先番号482で検索できます。資料の現物を閲覧される場合は、同じ方法で検索していただき、資料室まで事前に閲覧申請書をご提出ください。

トライやるウィーク活動紹介

中学生が職場体験を行う「トライやるウィーク」は、県内各市町の教育委員会が実施しているプログラムです。市内の中学2年生が、1週間さまざまな機関や会社、商店等で仕事を体験します。

人と防災未来センターでは毎年受け入れを行っており、今年度も3校が参加予定です。6月は筒井台中学校の生徒さん2名がセンター内の業務を体験しました。

資料室での活動は2日間で、収蔵庫の清掃や一次資料を保管するための箱の組み立て、二次資料(VHS)の整理、視察対応時の写真撮影をお手伝いいただきました。資料室での最終日にFacebookページ用の記事を投稿してもらったなかには、「ビデオをケースにしまった時の感じは癖になるかも。。。」「どの仕事も少し疲れたけれど、とっても楽しく、いい経験になりました。」などの感想があがっていました。



図書館総合展2017 パネル出展

「被災と図書館の役割」をテーマに、図書館総合展2017の地域フォーラムが熊本で開催されます。この中で行われる「全国の災害アーカイブ実施図書館」の展示に、人と防災未来センター資料室も参加することになりました。

被災経験のある全国の図書館等の情報を集めたパネル展示に、資料室も入れていただく予定です。熊本でのフォーラムが終わった後は、11月に横浜で行われる本フォーラムにも展示されるほか、パネルの貸出しや防災科学技術研究所のウェブサイト上での公開も行われます。皆様是非ともご覧ください。

- ★開催日・場所★
- 図書館総合展 2017 フォーラム in 熊本 7月 10日 くまもと森都心プラザ
- 第19回図書館総合展オープンサミット 11月7～9日 パシフィコ横浜

震災資料のメッセージ「想いのかたち」

「震災資料のメッセージ」は、人と防災未来センターに寄贈された一次資料(震災当時に被災したり、使用された現物)を、年度ごとのテーマにそって紹介するスポット展示です。

本年度は、「想いのかたち」をテーマとしました。震災後、のこされた人々は、さまざまなモノに、亡くなった人々への想いや祈りを託しました。そのあり方を震災資料から振り返ります。今回は、展示を前期と後期に分け、それぞれ1点ずつ一次資料を展示します。

このワープロは、当時、神戸大学の大学院生だった工藤純さんが使われていたものです。震災当時、神戸市東灘区の木造アパートから取り出されました。純さんの下宿先だったアパートは全壊し、純さんは19日に遺体で発見されました。搜索作業をする自衛隊員から「一つだけなら遺品を取り出せます」と言われ、取り出したワープロです。現在は壊れ、電源は入りません。



展示期間

第1期：2017年 5月30日(火)～2017年11月26日(日) 「工藤純さんのワープロ」

第2期：2017年11月28日(火)～2018年 5月27日(日) 「亡妻が大切にしていたが震災でこわれた観音像」

展示場所：人と防災未来センター 西館3階(有料ゾーン)

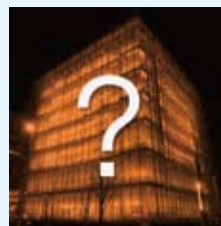
夏休み防災未来学校のお知らせ

夏休み期間中7/22～8/31は、毎日センター内で楽しいイベントが開催されます。資料室でも8月に楽しい企画をご用意しています。



防災ゲーム本気あそび 2017

8月の毎週水・木曜日は、資料室で防災ゲームの体験ができます。大人気の防災ゲーム「なまずの学校」(NPO 法人プラスアーツ発行)で、いっしょにあそんで、防災のことを考えてみましょう。



謎解き！ひとぼうツアー 2017

「ひとぼう前の石は何?」「資料はどこで、どんなふう保存しているの?」ギモンにお答えしながら、普段の見学コースにはない収蔵庫へ資料専門員がご案内します。

8月20日のみ開催・要予約

FBページ開設2周年!

2016年6月からスタートしたひとぼう資料室 Facebook ページ。おかげさまで、ページへの「いいね!」も900超えを達成しました。これからも、資料室から日々のあれこれを随時発信してまいりますので、応援よろしくお願いたします。次は1000人の方からのいいね!を目指しています。

* Facebookページは、FBアカウントを登録していない方もご覧いただけます。

URL→<https://www.facebook.com/dri.archives/>



震災資料をお持ちの方に

人と防災未来センターでは、現在も震災資料の収集を続けています。震災後、すぐには手放せなかったものの、震災の出来事を伝えるために活用したいとお考えの方は、ぜひ一度資料室までご相談ください。

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 阪神・淡路大震災記念 DRI 人と防災未来センター 資料室

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2
人と防災未来センター西館5階
TEL.078-262-5058 FAX.078-262-5062

資料室は無料で
ご利用いただけます

HPアドレス <http://www.dri.ne.jp>

開室時間 9:30～17:30(展示施設とは時間が異なりますのでご注意ください)

閉室日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日) 12月29日から1月3日

